

川に学ぼう!

せせらぎゼミナール

東海大学 教養学部 人間環境学科 自然環境課程

●金目川の汚れは?

「金目川水系の水質(上流編)」

金目川水系の約20地点で、一般的な化学分析法で水質を調査しています。今回は上流部の汚濁状況を報告します。

栗野市の落合で合流する葛葉川は、栗野自動車教習所付近の工場密集地から、まず汚れがひどくなります。

室川橋付近では、市の中心部を流れてきた水無川と室川が合流し、汚濁が一層進みます。

次に小田急鉄橋の上手で栗野上水管理センターの処理水が流入します。ここでの処理は有機物の微生物分解が主なため、処理水に残存するアンモニア態窒素などの流入により、窒素の割合が高くなります。

(栗野研究室：門多、久保、高井、福山、堀井)

「増えている大型帰化植物」

金目川・相模川・酒匂川で河原の植生調査を行いました。ネズミムギやオオブタクサなどの「大型帰化植物」が多く見られたことが全般的な特徴でした。特に金目川では育ちがよく、夏季には3メートルもの草もありました。

植生調査した土屋橋付近の水には、肥料成分になるアンモニア態窒素やリンが多く含まれていました。葉を分析したところ、やはり、リンの含有率がほかの河川の植物より高い結果になりました。

今後は、窒素の分析も行ない、植物体がどれだけの窒素やリンを吸収しているかを調べてみるつもりです。

(佐々木研究室：天野、小野澤、寺門)

*帰化植物：国際的な交流に伴って渡来し、国内で繁殖するようになった外国原産の植物。

作ろう!

流域の自然マップ

平塚市博物館 浜口哲一

金目川・葛川水系流域には、山もあれば市街地もあり、水走る溪流があるかと思えば、汚れた川も少なくありません。こうした変化に富んだ地域にどんな生きものが見られ、人の暮らしやその影響による環境の変化とどんな関わりをもって生活しているのかをみんなの力で調べてみませんか。これから毎号の通信で、一つのテーマでの情報収集を呼びかけます。集まった情報は、次の誌面で紹介し、必要であれば有志を募って詳しく調べ、そんな流れて何枚かのマップを作りたいと思いますので、よろしくご協力ください。各団体の方は、それぞれのフィールドからの情報提供を心がけていただければ幸いです。



白サギはどこで寝る?

流域の川や水田ではよく白サギが餌を探している姿を目にします。こうしたサギ達は昼間は分かれて行動していますが、夕方になると徐々に集まり、最後には数十羽、数百羽の集団になって木立で一緒に寝ることが知られています。そうした場所を「集団ねぐら」と呼んでいます。

集団ねぐらの場所は季節によっても、また年によっても移動する

ことがありますが、金目川・葛川水系流域の今年のねぐらがどこにあるのか、マップにまとめてみたいと思います。次のような情報がありましたら、下記の「ネットワークの窓口」までハガキかファックスでご連絡ください。E-mailでもけっこうですが、その場合観察地点や飛行方向がはっきり分かるように工夫してください。なお、白サギにはコサギ・ダイサギなどの種類がありますが、今回はどの種類かは気にしないでかまいません。

①日没近くの時間帯に、編隊を組んで飛んでいく白サギの群れを見たら、「場所・方向・およその個体数・日時」を知らせてください。たとえば「平塚市片岡の吾妻橋・金目川の下流方向に向かって・約20羽・2001年9月10日午後6時10分頃」

②日没前後に、白サギが群れてとまっている木立を見つけたら、「場所・およその個体数・時間」を知らせてください。たとえば「平塚市上平塚の中州の竹藪・約100羽・2001年9月12日午後6時半頃」



●「多様なものの協同」は21世紀を拓くキーワード。その合作第1号の出来はどうでしょうか。(佐々木園子)

●川を目の前にして話し合うとすぐに友だちになれますね。(田端祐)

●マップも通信も、自分の足で歩く道具に使ってほしいと思います。(浜口哲一)

●どのような紙面構成にしようかと、デモ版を作ったりしてあれこれ悩んだ。でも、出来上がってみると次号以降の道筋がみえてきた。世話人みんなでのワイワイガヤガヤも楽しい。次号の特集をどうしよう。(二見博幸)

●ネットワークがはじめの一步を踏み出しました。みんなの協力で大きく成長してほしいものです。(横溝敏文)

●創刊号ですので、私自身肩に力が入った感じがします。2号・3号と腕力ながら頑張ろうと考えています。(鹿野博孝)

●マップをもって金目川探検に出かけよう。発見したこと、感じたこと、考えたこと何でも結構。知らせてください。みんなに伝えて素敵な川にしていきたいです。(三原良子)

編集後記

金目川水系の基礎知識 その一

Q 金目川水系にはどんな川があるの?

A 金目川水系には、大山に源流を持つ大山川(おおやまがわ)、波田川(しづたがわ)、歌川(うたがわ)、鈴川(すずかわ)、大槻川(おおねがわ)、善波川(ぜんぱがわ)など、表丹沢に源流を持つ水無川(みずなしがわ)、金目川(かなめがわ)、葛葉川(くずはがわ)、大磯丘陵から流れ出す室川(むろかわ)、河内川(こうちがわ)、座禅川(ざぜんがわ)などがあります。また、金目川の下流部は、花水川(はなみずがわ)と呼ばれています。あなたはいくつ知っていましたか。



金目川水系 せせらぎ通信

編集：金目川水系流域ネットワーク世話人会 発行：神奈川県湘南地区行政センター 発行日：2001年9月25日

創刊号



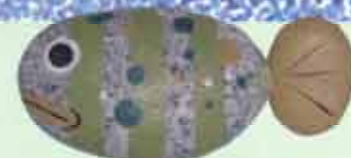
ためになる
情報がいっぱいだよ



僕たちの川のこと
もっともっと
もっと詳しい



空飛ぶみんな
読んでね!



特集 金目川水系流域マップが できました!



発行に寄せて
誕生しました!
金目川水系流域ネットワーク

代表世話人 佐々木園子

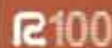
金目川水系は、丹沢山塊に端を発し、金目川(かなめがわ)、水無川(みずなしがわ)、鈴川(すずかわ)などいくつもの川が合流し、最後は花水川(はなみずがわ)となって、相模湾に注ぐ。流域面積180km²ほどの水系です。この流域には、まだまだ美しい水と緑、多種多様な生物、豊かな自然空間が残されており、人々の生活を支えながら、独自の歴史・文化を育んできました。近年、川や水環境への関心の高まりとともに、流域では、訪れる人も増え、多くの市民、団体、グループが様々な分野で多彩な活動をしていきます。この6月、流域レベルでの交流や横断的な情報交換などを進める場として、「金目川水系流域ネットワーク」が、スタートしました。ネットワークでは、川を通して身近な地域を考えた相互に交流することを通して、流域の自然・歴史・文化・現在の問題などについて理解を深め、ここに住んでいる人、働く人や行政など、みんなが交流できる新しい地域づくりの土壌を創っていきたく考えています。スタートしてまもない小さな集まりですが、大河も一滴の水から始まるように、小さくても、できることから、こつこつと進めながら、やがて大きな波を起こすようなネットワークにしていきたく考えています。この通信は、会員の皆さんの間の交流を進め、情報のやりとりを活発にすることを目的としています。情報が、それだけにとどまらず、ネットワークから市民の皆さんへ、金目川水系流域についての様々な情報を発信していきたいと考えています。この通信を通じ、私たちのネットワークのきずなが一層強まり、お互いの理解が深まるだけでなく、子どもから大人まで一人でも多くの方に金目川水系のことを知っていただき、身近な川や環境、足元の地域を考えるきっかけになれば幸いです。

<ネットワークの窓口>

神奈川県湘南地区行政センター企画調整課
〒254-0073 平塚市西八幡1-3-1
TEL.0463-22-2711 内線212~214 FAX.0463-23-0599
E-mail shonanac.0024@pref.kanagawa.jp

★情報誌の編集スタッフ募集

金目川水系流域ネットワーク世話人会では、一緒にこの通信を作ってくださいのスタッフの方を募集しています。興味のある方、やってみたいと思われる方は、左記の「ネットワークの窓口」までご連絡ください。



12100 100%再生紙を使用した印刷

こんな感じですよ！ 金目川水系流域マップ

金目川水系流域は、水やみどりといった豊かな自然に恵まれ、流域で育まれた歴史・文化にふれられる場所などもたくさんあります。そんな流域の魅力を少しでも多くの方に知っていただきたくて流域マップを作りました。

マップでは「家族みんなで楽しめる」、「自然にふれあう」、「環境について考える」の3つに色分けしてポイントを紹介しています。自分の住む地域と川の関わりや身近な環境を考えるきっかけになるようにも工夫してあります。

マップの一部を紹介します
掲載写真ははめ込みです。



- お便りありがとうございました**
- ガイドマップとして、身近なわがみやあいの内になっている。
 - 上流から下流、支流までよくわがみや、行ってみたいところがたくさんある。
 - 現状の課題点なども考えさせる工夫があった。
 - 金目川水系そのものの説明が不十分。
 - 水の流れがよくわかる地図は初めてで、とても見やすい。
 - 子どもものの環境と現在の違いも知るため歩いてみたい。

5つのブロックに分けて川を紹介しているよ

- ① 洗田川・日向川流域ブロック**
 - ◆洗田川
伊勢原市日向山中に水源をもち、伊勢原台地沿いに東へ流れ、洗田川橋付近で曲がって南流し、金目川合流地点まで約14kmの河川。
 - ◆日向川
大山山麓の大山沢を水源として東流し、日向溪谷を形成しています。厚木市七沢の奥字橋で七沢川と合流して玉川（玉川は金目川の支流でしたが、昭和16～21年の工事で現在は相模川に合流しています）となります。
- ② 鈴川・善波川流域ブロック**
 - ◆鈴川
水源は大山山頂の東で、阿夫利神社下社付近では二重滝となり、男坂下にある八段滝を作って一気に伊勢原市大山の集落へ下っています。
 - ◆善波川
善波峠を水源とする約3.6kmの河川。伊勢原西部の水田をうるおし、平塚市真田境で大根川に合流。
 - ◆大根川
水源は鶴巻温泉の西側にある弘法山にあります。岡崎で鈴川に合流する約5.2kmの二級河川。
- ③ 金目川（花水川）・産神川流域ブロック**
 - ◆金目川
金目川水系の本川。水源は大山とサビツ峠間にある香嶺山。裏毛の集落に沿って南下しており、栗野盆地東部のかんがい水源として重要。葛葉川や水無川を合流しつつ相模平野を東に流れ、洗田川等と合流する約20kmの二級河川。
- ④ 葛葉川・水無川・室川流域ブロック**
 - ◆葛葉川
栗野市葛葉を水源とする全長約9.3kmの河川。栗野市曾屋付近では著しく蛇行しており、周辺の森林は県のナショナルトラストによる保存地となっています。
 - ◆室川
大磯丘陵の一面に位置する栗野市千村に源を発し、洗田川沿って東へ流れ、上大磯で大無川に合流する約6kmの河川。川幅が狭く水量も比較的安定していたため、かつては水車が設けられ動力源として精米、製粉等に利用されていました。
- ⑤ 葛川・不動川流域ブロック**
 - ◆葛川
中井町井ノ口付近に源を発し、栗野街道沿いを南流、二宮駅東側で流れを東に変え、大磯町国府で相模湾に注ぐ約7kmの河川。有史前には丹沢山地の水を集めていたが、その後の地殻変動により上流部を金目川に奪われてしまったという経緯があります。
 - ◆不動川
大磯丘陵東部に源を発し、平塚市吉沢地区、大磯町国府地区を流れ、河口近くで二宮からの葛川に合流しています。川名は、吉沢の不動明王像によります。
- ◆水無川**
丹沢系の塔ノ岳付近に源を発し、栗野盆地中央を南流し、栗野町東方で室川と合流し、金目川に注ぐ約12kmの河川。上流にあたる戸川付近では、地下に潜流し、地表を流せず地下に潜る文字通り水無川となっています。

- お便りありがとう（子どもたちの声）**
- 鳥や魚、木の葉などいろいろなものがのっていておもしろい。
 - 自由に寝るような心地も欲しいです！
 - かんじ漢字が多くてわがみやづらいです。
 - 鳥や花がともわがみやあいです。
 - かんじ漢字のじもふってほしい。
 - いろいろなマークがあって見やすいです。
 - ガイドブックの地図もいろいろなことに使えそうで、もらってうれしかった。

マップを持って出かけましょう

裏面にはこんな情報ものってるよ

ネットワークからみなさんへ

マップについて多くの声をいただきありがとうございました。見やすさ、わかりやすさへの工夫など、大変貴重なご意見がたくさんありました。今後、いろいろな資料を作成していくなかで、生かしていきたいと思っております。これからも流域に関する情報やおもしろいアイデアなどをどしどしお寄せください。お待ちしております。

金目川水系流域ネットワークに参加しませんか

私たちのネットワークには、流域にお住まいの方や流域で活動する団体・グループ、行政機関など、現在、団体会員43団体、個人会員22人が参加しています。今後の活動としては、この通信の発行のほかに、流域でのイベントの開催などを予定しています。

ネットワークでは、ただいま会員を募集中です。参加資格は特になく、金目川水系流域に関心をお持ちであれば、個人・団体の別を問いません。会費は無料となっています。会員になられた方には、この通信をお送りします。

参加申込み、お問い合わせは裏面の＜ネットワークの窓口＞まで。

マップはここにあります

平塚市・藤沢市・茅ヶ崎市・栗野市・伊勢原市・寒川町・大磯町・二宮町の広報窓口 県政情報センター 各地区県政情報コーナー ほか
※詳しくは、裏面の＜ネットワークの窓口＞にお問い合わせください。

- ① 鳥の森ふしや公園**
鳥の森ふしや公園は、鳥の森として有名な公園です。ツルやアヒルなどを見ることができます。
- ② 伊勢原市立子ども科学館**
鳥の森ふしや公園から徒歩で約10分。鳥の森ふしや公園と連携して鳥の森ふしや公園の自然環境を体験することができます。
- ③ 洗田川の自然**
洗田川には、洗田川自然観察センターがあります。洗田川の自然環境を体験することができます。
- ④ 鳥の森ふしや公園**
鳥の森ふしや公園は、鳥の森として有名な公園です。ツルやアヒルなどを見ることができます。
- ⑤ 伊勢原市立子ども科学館**
鳥の森ふしや公園から徒歩で約10分。鳥の森ふしや公園と連携して鳥の森ふしや公園の自然環境を体験することができます。
- ⑥ 洗田川の自然**
洗田川には、洗田川自然観察センターがあります。洗田川の自然環境を体験することができます。
- ⑦ 鳥の森ふしや公園**
鳥の森ふしや公園は、鳥の森として有名な公園です。ツルやアヒルなどを見ることができます。
- ⑧ 伊勢原市立子ども科学館**
鳥の森ふしや公園から徒歩で約10分。鳥の森ふしや公園と連携して鳥の森ふしや公園の自然環境を体験することができます。
- ⑨ 洗田川の自然**
洗田川には、洗田川自然観察センターがあります。洗田川の自然環境を体験することができます。
- ⑩ 鳥の森ふしや公園**
鳥の森ふしや公園は、鳥の森として有名な公園です。ツルやアヒルなどを見ることができます。

